



株主のみなさまへ

第118期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

株主のみなさまへ



取締役会長 宮本 洋一



取締役社長 井上 和幸

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの台風などにより被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
当社グループは、建設業の社会的使命として、引き続き被害の復旧に尽力してまいります。

ここに、第118期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）上半期の、当社グループの業績及び事業活動の概況についてご報告申し上げます。

2019年11月

INDEX

株主のみなさまへ	1	トピックス	9
社長メッセージ	2	主な完成工事	11
業績ハイライト	3	株主見学会・株主優待	12
シミズのSDGsとESG経営	5	株主アンケート	13
シミズのものづくり	7	会社概要・株式情報	14

社長メッセージ

当社は、1887年に相談役としてお迎えし、以後約30年にわたり経営指導を受けた渋沢栄一翁の教え「論語と算盤」を経営の基本理念としてきました。いつの時代も変わらない価値観を、より一層強く意識することを目的として、本年5月に「論語と算盤」を「社是」と位置付け、併せて、「経営理念」を「真摯な姿勢と絶えざる革新志向により 社会の期待を超える価値を創造し 持続可能な未来づくりに貢献する」と決めました。当社はこの「社是」と「経営理念」を、企業の持続的成長や永続性の源泉として、役員・従業員が常に身近に置き、実践する企業風土を醸成するとともに、次世代に伝承してまいります。

現在、建設業界においては、生産性向上や働き方改革に向けた取組みの本格化、産業間の垣根を越えたグローバルな競争の加速などを受けて、事業展開に伴う更なる基盤強化と体制整備が重要な経営課題

となっております。こうした環境変化に対応するべく、当社は経営方針の刷新と同時に、2030年を見据えた新たな長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」と、当面5年間の基本方針と重点戦略、財務・非財務KPIを掲げた「中期経営計画〈2019-2023〉」を策定・公表し、当社グループの持続的な企業価値向上とSDGsの達成への貢献に向けた新たなスタートを切りました。

このような状況のもと、当上半期の連結業績は、売上高8,348億円、経常利益652億円、当期純利益476億円となり、前年同期に比べて増収増益となりました。

配当については、「中期経営計画〈2019-2023〉」において、安定配当の維持を基本方針としつつ、成長により稼得した利益を、連結配当性向30%を目安として還元することとしております。この方針に基づき、当期の年間配当金は1株につき36円を予定しており、このうち中間配当金は18円としました。

当社グループは、建設事業の枠を超えた不断の自己変革と挑戦、多様なパートナーとの共創を通じて、時代を先取りする価値を創造し、人々が豊かさや幸福を実感できる、持続可能な未来社会の実現に貢献してまいります。

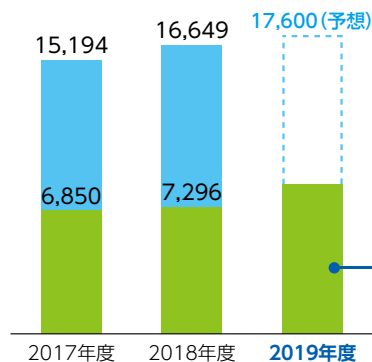
株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ相変わりがせぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



業績ハイライト

連結売上高

(億円)



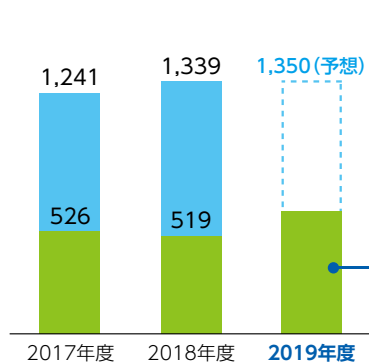
8,348 億円

前年同期比

14.4%

連結経常利益

(億円)



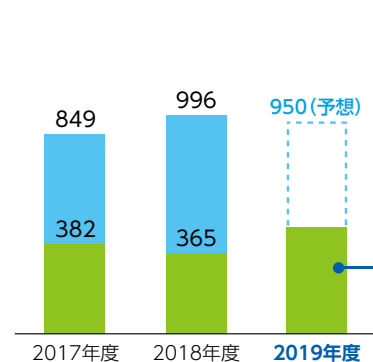
652 億円

前年同期比

25.7%

連結当期純利益*

(億円)



476 億円

前年同期比

30.5%

通期 上半期 * 連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

■ 当上半期の業績について

当社グループの当上半期の売上高は、完成工事高及び開発事業等売上高の増加により、前年同期に比べ14.4%増加し8,348億円となりました。

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益が増加したことに加え、開発物件の売却による開発事業等総利益の増加などにより、経常利益は25.7%増加し652億円となりました。当期純利益は、保有株式の売却に伴う特別利益の増加などにより、30.5%増加し476億円となりました。

■ 通期の業績見通し

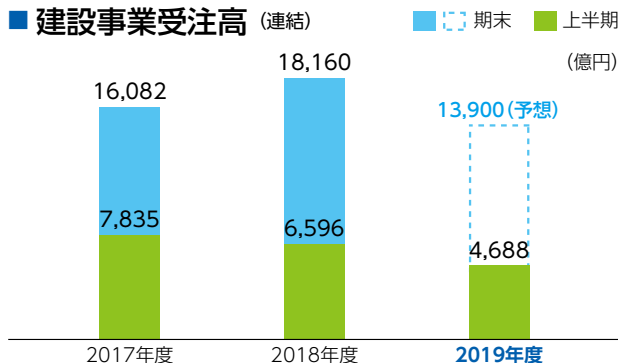
2019年度通期の連結業績は、売上高1兆7,600億円(前期比+5.7%)、経常利益1,350億円(前期比+0.8%)、当期純利益950億円(前期比△4.7%)を見込んでおります。

なお、このうち建設事業は、売上高1兆5,800億円(前期比+5.0%)、売上総利益1,980億円(前期比+0.6%)、非建設事業は、売上高1,800億円(前期比+12.3%)、売上総利益250億円(前期比+26.0%)を見込んでおります。

■ 事業別情報 (連結)

	売上高		売上総利益	
	上半期	通期見通し	上半期	通期見通し
建設事業 (完成工事) 国内建築事業・国内土木事業・海外建設事業	7,259 億円 前年同期比 10.7%	1兆5,800 億円 前期比 5.0%	885 億円 前年同期比 10.0%	1,980 億円 前期比 0.6%
非建設事業 (開発事業等) 投資開発事業・エンジニアリング事業・LCV事業・フロンティア事業 他	1,089 億円 前年同期比 47.0%	1,800 億円 前期比 12.3%	158 億円 前年同期比 76.5%	250 億円 前期比 26.0%

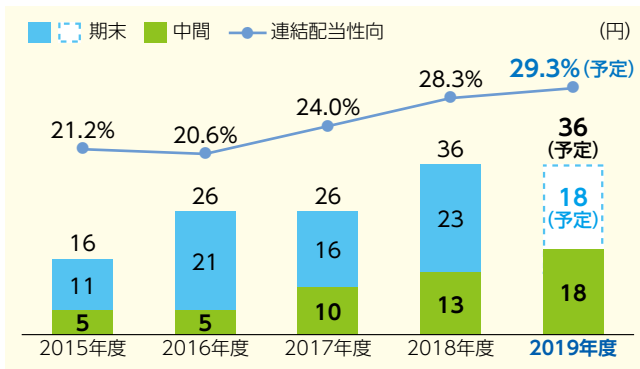
■ 建設事業受注高 (連結)



■ 主な受注工事

建築 工事	千葉いのはなPFI株式会社	千葉大学(亥鼻)医学系総合研究棟整備等事業に係る建設工事、備品等調達業務及び引越業務
	川西市	(仮称)川西市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業
	株式会社安川電機	(仮称)安川電機テクノロジーセンター建設計画
土木 工事	四国電力株式会社	西条発電所1号機リプレースに伴う循環水管路他設置工事及び取放水設備設置工事
	スペースワン株式会社	串本ロケット発射場建設に係る準備工事及び造成工事

■ 1株当たり年間配当金の推移



■ 自己株式の取得状況 (2019年10月31日時点)

資本効率の向上による更なる企業価値の向上を図るため、2019年6月24日開催の取締役会において自己株式取得にかかる決議(取得総額上限200億円, 取得株式数上限3,000万株)を行い、10月末までに累計170億円(1,903万株)の市場買付を実施いたしました。

その他財務情報の詳細は
当社コーポレートサイトを
ご覧ください。



シミズのSDGsとESG経営

シミズグループは、本年5月に、SDGsの達成期限でもある2030年を見据えた長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」を策定しました。イノベーションを通じた価値の提供により、SDGsの達成に貢献します。

また、当面5年間の基本方針と重点戦略を取りま

とめた「中期経営計画〈2019-2023〉」でも、グローバル展開の加速とESG経営の推進により、シミズグループの企業価値向上を実現し、SDGsの達成に貢献することを表明しています。

シミズグループが2030年に目指す姿

Smart Innovation Company スマートイノベーションカンパニー



※レジリエント (resilient) :
強くしなやかで復元力がある



※インクルーシブ (inclusive) :
すべての人が社会の一員として参加できる



※サステナブル (sustainable) :
地球環境を保全しつつ持続的発展が可能

●●● シミズグループが提供する価値 ●●●

地震や巨大台風、豪雨などの自然災害リスクが高まる中、生活と事業を災害から守ることが求められています。強靱な建物・インフラの構築を通じて、安全・安心でレジリエントな社会の実現に貢献していきます。

高齢化や人口減少、都市化などの急速な社会変化が進む中、誰もが安心して快適に暮らせる社会が求められています。人に優しい施設やまちづくりを通じて、健康・快適に暮らせるインクルーシブな社会の実現に貢献していきます。

地球温暖化や森林破壊、海洋汚染などが深刻化する中、次世代に豊かな地球を残すことが求められています。環境負荷低減を目指す企業活動を通じて、地球環境に配慮したサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

事業を通じて貢献するSDGsの主な目標



ESG経営の推進

シミズグループは、ESG経営を推進し、事業活動を通じて社会的責任を果たすことで、ステークホルダーからの信頼を高めるとともに、中長期的な企業価値向上と持続的な成長を実現します。

中期経営計画「ESG経営の推進」

- E (環境)** : 持続可能な地球環境への貢献
- S (社会)** : すべてのステークホルダーとの「共生」
- G (ガバナンス)** : コンプライアンスの徹底とリスクマネジメントの強化

E (環境)

気候変動対策

2016年11月発効のパリ協定では、21世紀末までの地球の平均気温上昇を産業革命以前に比べ2℃未満に抑えること、加えて1.5℃未満に抑える努力が求められています。

当社は、CO₂削減に向けた中長期目標「エコロジー・ミッション2030-2050」の着実な推進を図るとともに、気候変動への対応を重要な経営課題の一つとして捉え、気候変動のリスクや機会の分析を行い、情報開示を進めていきます。



ゼロエミッション・水素タウンの実現に向けて福島県郡山市で水素エネルギー供給実証を開始

S (社会)

地域社会との共生

社である「論語と算盤」、コーポレートメッセージ「子どもたちに誇れるしごとを。」などの考えに沿って、豊かな地球とそこに住むすべての人々が暮らす未来社会をつくるために、企業市民として積極的に地域社会に貢献する活動を行っています。

東京木工場では、子どもたちに木の温もりを伝える木工教室を全国各地で開催しています。当社と地域社会をつなげる活動として、これからも「木育活動」を推進していきます。



東京都中央区と連携した「おやじの出番！『親子で体験、木工教室』」

G (ガバナンス)

創業の精神を共有 ～シミズマインドー私たちの約束～

本年5月、当社の創業から210年を超える歴史の中で、永々と受け継がれてきた創業の精神に通じる考えを一冊の小冊子にまとめた、「シミズマインドー私たちの約束」を発行しました。

全役員、従業員が当社で働くことの誇りを忘れないために、そして「子どもたちに誇れるしごとを。」を実践するために、創業の精神を共有し、次世代に引き継いでいきます。



「論語と算盤」、「出入り大工の精神」、「コンプライアンス」など大切な想いを綴っている

■ 六甲バター神戸工場

六甲山麓，神戸テクノ・ロジスティックパーク内に、国内最大級のプロセスチーズ工場が完成しました。生産物流施設も含めた設計施工を当社が担当。生産物流設備と受発注システムをIoTでつなげ、原料を生産現場にジャスト・イン・タイムで供給できるシステムを構築したほか、AIを活用して製品の目

視検査を一部自動化するなど、生産性の向上と大幅な省人化を実現しました。

工事概要

所在地：兵庫県神戸市西区見津が丘6-7-1

発注者：六甲バター株式会社

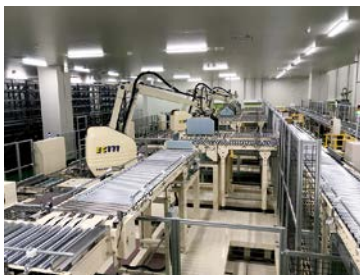
設計・監理：当社



建物外観



神戸工場全景。内部には、2層(220m×70m)の生産エリアを持つ



工場内の製品段ボールが集約され、パレット(荷台)に積み付ける製品パレタイズ室



自動倉庫から生産設備に資材を供給する無人フォークリフト

お客様から

すべてをお任せして正解でした!



六甲バター(株)
常勤顧問 神戸工場
稼働推進担当
中山 正夫様

一体感のある工場設計の素晴らしさ、そして何より、この人たちとなら一緒にやっていると感じたことにより、御社にお願いすることにしました。

印象的なのは、整理整頓が徹底された現場。スーツのまま巡回しても何の問題もありませんでした。

これほどの規模の工場立ち上げは、当社にとっても初めてのことで、御社にすべてをお任せして正解でした。今後末長く当社とともに工場を管理していただけることを期待しています。

世界一のプロセスチーズ工場

「世界一のプロセスチーズを作りたい。それを実現する工場をつくってください」。お客様から言われた言葉です。メンバー全員の身が引き締まり、自然とチーム全体で頑張ろうという雰囲気になりました。設計に当たっては、エンジニアリング担当と協力し、生産効率が高くなるようプランの最適化と食の安全安心につながる異物混入対策を徹底しました。当工場の製品を店頭で目にすることを楽しみにしています。



設計担当
よしだ
芦田 裕二

五位一体の取組みの結晶

地方支店ではなかなか巡り合うことのできない大型工事。外装工事で無足場工法を採用し、安全面に配慮しつつ、生産性の向上と品質の確保を両立させました。竣工は、営業、設計、エンジニアリング、施工そしてお客様の五位一体の取組みの結晶です。

建設所スローガンは「みんなで力を合わせ未来に誇れる建物をつくろう」。関係者全員がベクトルを合わせ、想像以上の力を発揮しました。後輩に引き継ぐ素晴らしいしごとができたと自負しています。



建設所長
のりやす
加藤 了誉

IoTとAIを活用しました!

生産物流設備の設計施工を担当しました。物流や製品検査の自動化にIoTとAIを活用したほか、空調の省エネルギー化にも挑戦。建築と生産設備の連動は、今後にも生かせる新しい取組みでした。

当社エンジニアリング事業本部で手掛けた食品プラントとしては最大級かつ様々な新しい技術を取り入れたプロジェクト。会社人生の1ページを飾る思い入れの深いものとなりました。



エンジニアリング担当
加藤 良和

二代清水喜助が手掛けた 唯一現存する建物、旧渋沢邸を移築

当社の二代目当主である清水喜助が手掛け、青森県六戸町に移築されていた旧渋沢邸を東京都江東区潮見に新設するイノベーションセンターの敷地内に再移築し、保存します。旧渋沢邸は、明治・大正期に当社の相談役を務めた渋沢栄一翁の邸宅として1878（明治11）年に完成した木造建築です。唯一現存する二代清水喜助の建築作品であり、当社のDNAを後世に伝える文化遺産として、新設する歴史資料展示施設と一体活用していきます。



青森県六戸町にあった旧渋沢邸
（現在は解体済み）
（写真提供：NARU建築写真事務所）



渋沢栄一（1840～1931年）
（写真所蔵：国立国会図書館）

世界が注目する大嘗宮の造営を担当



令和の大嘗宮のイメージ模型（宮内庁HPから転載）

宮内庁より本年5月にご下命を賜った令和の大嘗宮の造営工事を担当しました。大嘗宮は、「大嘗宮の儀」が執り行われる古式ゆかしい施設であり、大小約40棟の建屋から構成されます。造営に当たり、「（国宝）出雲大社平成の大遷宮」（60年に1度の解体改修）を納めた熟練の技術者を責任者に据え、神社仏閣の経験者を集めた全社横断のプロジェクトチームを結成。最終的には、約120名もの宮大工が参加しました。造営は、3ヶ月余りの間に約30棟もの木造殿舎を建設する、当社が創業時から継承してきた伝統の技が試された工事でありました。

■ 東京外環自動車道大和田工事が竣工



完成した外環道本線

※プレキャスト：あらかじめ工場でコンクリート部材を製作し、現場でつなぎ合わせる工法



本年7月、丸8年の歳月を掛けた東京外環自動車道大和田工事が竣工しました。本工事では、半地下構造の本線約1.6km、市川中央IC、京葉JCTのランプの構築等を施工。そのほか、昨年6月に開通した千葉区間において、市川田尻^{かんきよ}函渠、市川南IC改良、京成菅野アンダーパスの3工事も担当しました。本工事の開削工は約112万 m^3 、コン

クリート工は約36万 m^3 で、都市土木では前例のない規模。積極的にプレキャスト[※]化などの省力化施工に取り組み、技術的に難易度の高い工事を、周辺環境に最大限の配慮を払い完遂しました。

■ インドネシアで数々の大規模プロジェクトに参画

高い経済成長を続け、今後更なる発展が期待されるインドネシア。首都ジャカルタでは、2017年にメナラアストラなどの超高層ビルを2棟完成させた実績を基に、高さ250m程度の超高層ビルを2件施工中です。さらに(株)海外交通・都市開発事業支援機構が参画する大規模複合施設プロジェクトなども相次いで受注しています。ODAプロジェクトにも参画し、ジャカルタのMRT南北線工事ではインドネシア初のシールド工事を無事完成させ、竣工を迎えました。また、国際港湾へのアクセス道路の建設や、同国西部のスマトラ島の水力発電所の土建工事も施工中です。



設計施工で受注した超高層複合開発「メガコンガンプロジェクト」に着工



MRT南北線工事にて、インドネシアで初めてシールド工事を完成

主な完成工事



キオクシア岩手株式会社 510棟 (CR棟) 新築建築工事
発注者：キオクシア株式会社



東京国際展示場 (28) 増築工事
発注者：東京都



岩手医科大学総合移転整備計画 附属病院移転事業
附属病院新築工事 (建築工事)
発注者：学校法人岩手医科大学



石巻半島部・河北・北上・
雄勝・牡鹿地域防災集団
移転宅地造成工事
発注者：石巻市

株主見学会・株主優待

■ 個人株主さま向けIRイベント開催のご報告

「竹芝ウォーターフロント開発計画本体工事」作業所（東京都港区海岸）にて現場見学会を開催いたしました。

参加された株主の皆様からは、「普段見ることのできない完成前の建物が見られてよかった」、「施工計画や設計の3次元シミュレーションなど、ICTの活用状況がよく分かった」などの声をいただき、当社及び建設業へのご理解を深めていただきました。

開催概要

日 時：2019年10月19日（土）
 午前の部 9：30～11：30
 午後の部 13：30～15：30
 参加株主数：84組146名（応募総数658組1,109名）



設計3次元シミュレーションの説明の様子

見学の様子

■ 株主優待品の贈呈について

2020年3月期の株主優待は、昨年引き続き、東京木工場製の木製グッズの受領（保有株式数に応じた株主優待メニューより1点）又は社会貢献活動団体への寄付からお選びいただけます。

スケジュール

権利基準日：2020年3月末日
 申込書送付：2020年5月上旬（予定）
 優待品発送：2020年7月末日（予定）

<2020年3月期優待メニュー>

保有株式数	優待内容（木製グッズか寄付いずれかご選択）	
	木製グッズ（1点）	寄付
1,000株以上 5,000株未満	干支柄（子）コースター 2個	社会貢献活動団体への寄付 1,000円
5,000株以上 10,000株未満	干支柄（子）コースター 3個 自立式ミニまな板 ペンメモスタンド	
10,000株以上	干支柄（子）コースター 4個 自立式ミニまな板 ペンメモスタンド 置き時計 スマートフォンスピーカー トレイ 写真立て	寄付先： 一般財団法人 清水育英会*

*建築、土木又は都市計画等を専攻する学生への奨学金の給付を通じて、若手技術者を育成し、日本の建築・土木技術の発展に寄与することを目的として設立された財団です。

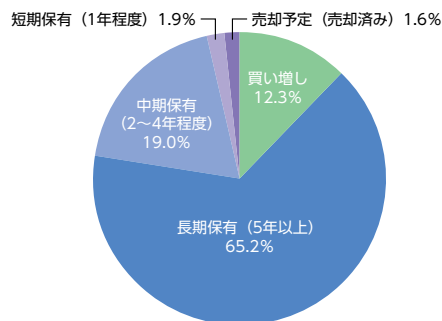
株主アンケート

■ 「株主さま向けアンケート」の結果のご報告

第117期期末配当関係書類（本年6月に発送）に同封いたしました「株主さま向けアンケート」につきまして、約6,700名の株主様からご回答をいただき、誠にありがとうございました。

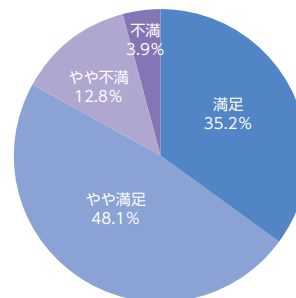
いただきましたご意見につきましては、今後の経営とIR活動の参考にさせていただきます。一部ではございますが、以下にアンケート結果をご報告させていただきます。

① 今後の保有方針



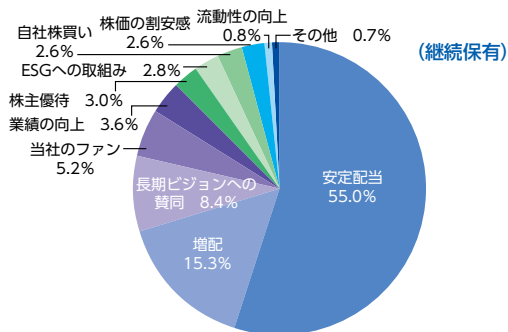
「買い増し」、「長期保有(5年以上)」の割合が、それぞれ昨年よりも上昇しております。

② 選択制株主優待制度に対する評価

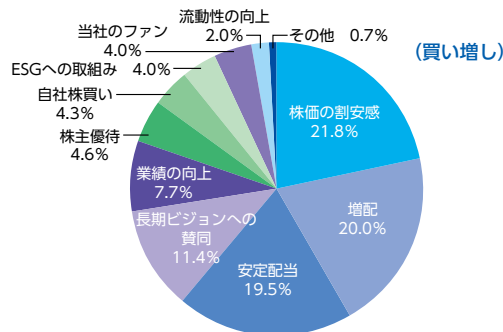


新たに導入した選択制株主優待制度について、「満足」、「やや満足」の合計は83.3%でありました。

③ 当社株式の継続保有/買い増しに当たって最も重視すること



「安定配当」と「増配」を合計すると70.3%を占めております。



「株価の割安感」が21.8%、次いで、「増配」、「安定配当」、「長期ビジョンへの賛同」が続きました。

会社概要・株式情報 (2019年9月30日現在)

社 名：清水建設株式会社
SHIMIZU CORPORATION
創 業：1804年（文化元年）
資 本 金：743.65億円
従業員数：（連結）16,412名（単体）10,519名

■ 役 員

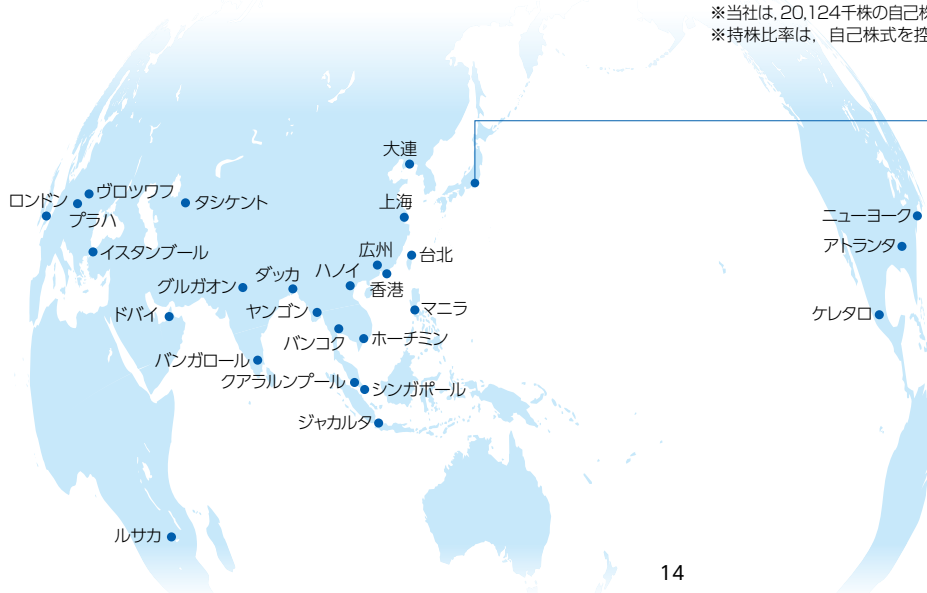
代表取締役会長	宮本 洋一	取 締 役*1	清水 基昭
代表取締役社長	井上 和幸	取 締 役*2	岩本 保
代表取締役副社長	寺田 修	取 締 役*2	村上 文
代表取締役副社長	今木 繁行	取 締 役*2	田村 真由美
代表取締役副社長	東出 公一郎	監査役（常勤）	荒川 千尋
代表取締役副社長	山地 徹	監査役（常勤）	渡邊 英人
取締役副社長	池田 耕二	監査役（常勤）*3	金子 初仁
代表取締役専務執行役員	山中 庸彦	監査役*3	西川 徹矢
		監査役*3	石川 薫

※1 清水基昭は、非業務執行取締役で、指名報酬委員会委員長です。

※2 岩本保、村上文、田村真由美は社外取締役です。

※3 金子初仁、西川徹矢、石川薫は社外監査役です。

■ 主要な営業所等



本社 東京都中央区京橋二丁目16番1号

北海道支店（札幌市）
東北支店（仙台市）
北陸支店（金沢市）
関東支店（さいたま市）
東京支店（東京都中央区）
横浜支店（横浜市）
千葉支店（千葉市）
名古屋支店（名古屋市）
関西支店（大阪市）
神戸支店（神戸市）
四国支店（高松市）
広島支店（広島市）
九州支店（福岡市）
土木東京支店（東京都中央区）
国際支店（シンガポール）
投資開発本部（東京都中央区）
エンジニアリング事業本部（東京都中央区）
LCV事業本部（東京都中央区）
技術研究所（東京都江東区）

■ 株式の状況

発行可能株式総数	1,500,000,000株
発行済株式総数	788,514,613株
株主数	52,147名

■ 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	64,216	8.36
清水地所株式会社	61,830	8.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	43,387	5.65
社会福祉法人清水基金	38,595	5.02
一般財団法人住総研	17,420	2.27
清水建設持株会	16,253	2.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	13,277	1.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	13,188	1.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	13,093	1.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口7）	12,646	1.65

※当社は、20,124千株の自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

コーポレートサイトのご案内

表紙写真

ANAインターコンチネンタル
別府リゾート&スパ(大分県別府市)

設計・監理/当社



当社コーポレートサイトでは、「株主・投資家情報」をはじめ、様々な情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.shimz.co.jp/>



株主メモ

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

6月

基準日

定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法

電子公告
公告掲載URL (<https://www.shimz.co.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する各種手続きについて

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、お取引の証券会社にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行（上記連絡先）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

清水建設株式会社

〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16番1号

TEL 03-3561-1111 (大代表)

<https://www.shimz.co.jp/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

